

第124回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ (教区教化テーマ)

まなこ こころ
『眼をひらく 心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2014年10月20日(月) 午後6時30分～8時30分	
講 師	佐々木 るり 氏 (真行寺坊守)	
講 題	「原発事故後の福島を生きる」	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈 (同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

佐々木 るり (ささき るり)

1973年生まれ。福島県二本松市在住。五児の母。真宗大谷派真行寺で寺務職の傍ら、隣接する同朋幼稚園で教諭を務める。原発事故以降「ハハレンジャー」を結成し食品放射能測定、県外保養、安全野菜の市場開催など、こどもたちを放射能から守るために活動中。

先生からのメッセージ

事故当時1歳だった一番下の息子は、極端に外遊びの経験が少ないまま、4歳になりました。初めてお散歩をしたのも、初めて靴を履いて歩いたのも、初めて花を摘んだのも、初めて砂遊びをしたのも、すべて県外での経験です。

子どもたちの小さな背中に、取り返しのつかない大きな荷物を背負わせてしまったこの現実から、今私たちにできることは何なのかを問い続けています。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」、お電話ください。Tel.058-265-0033